

日商簿記 1 級&全経上級ダウンロード講座 工原 No.20【原価企画・品質原価計算】

収録日：平成 25 年 10 月 8 日

【出題実績】

日商簿記 1 級

全経簿記上級 158 回（原価企画）、159 回（品質原価計算）

	検定簿記講義	サク	スッキリ	教科書
ページ数	18	12	5	
原価企画	◎	◎	×	
品質原価計算	◎	◎	◎	

◎説明あり、例題あり ○説明あり、例題弱い、△説明弱い、例題あり、×説明弱い、例題弱い
（「弱い」は「ない」を含みます）

活動基準原価計算同様に試験委員である一橋大学教授の編である検定簿記講義で大きく取り上げられています。

理解しておけば少ない努力で満点が望める論点です。しっかり確認しておいて下さい。

全経簿記で出題される傾向があります。

日商簿記でも穴埋めのイメージは持っておきましょう。

原価企画とは？（60年代にトヨタで開発された戦略的コストマネジメントの手法）

経営環境の変化

高度経済成長期における大量生産方式→所得水準の向上→顧客ニーズの多様化→製品ライフサイクルの短縮化→顧客志向マーケティング活動→多品種少量生産方式→F A化の進展

原価管理の変化

大量生産方式になじむ標準原価計算（直接工の能率管理が主）

製造技術や情報化の進展→熟練工からオートメーションへ

標準原価計算の役割低下

量産効果による原価低減

習熟効果による変動費（／個）の低下

量産効果による固定費（／個）の低下

多品種少量

受動的に効果を待つのではなく、能動的に原価改善企画を行う
標準原価を設定している現場にさらなる原価低減を求めるのは酷
製造工程の上流過程（源流管理）に目を向ける

原価企画の目的

市場における競争優位を確保する為

顧客ニーズを満足させる魅力的製品を、高品質（Q）・低価格（C）で・タイムリー（D）に市場投入する必要あり

製品の企画・設計段階で目標利益を設定する

標準原価計算における利益の概念→売上－原価＝利益（結果）

原価企画における利益の概念→予想販売価格－目標利益＝（目標）原価

B U T現場の原価は低減厳しい→企画・設計段階での低減→サプライヤーにも協力を求める
設計技術者の疲弊 サプライヤーの疲弊
原価企画の逆機能

簿記試験で問われる点はココ

新製品目標原価の設定

<トップダウン型>

販売価格基準法→目標販売価格（営業部主導）－目標利益＝原価

許容された原価以上はダメ！！→生産現場のモチベーションダウンの可能性

<ボトムアップ型>

見積原価基準法→過去の実績に基づいて決定する（成行で決まる原価）

現場にとって甘い原価設定になりがち

両者の長所を取り入れた統合法が採用される

（全経 過去問類題）

CMC社では、中期利益計画で新製品（日商簿記ダウンロード講座）の予定販売価格を5万円、目標売上高利益率を20%と設定した。また、技術者が現状の技術を前提にして見積もった原価は4.5万円であった。

(1) 許容原価と、(2) 成行原価はいくらであるか答えなさい。

さらに、許容原価と成行原価の差が大きいため、両原価の中間水準に目標原価を設定することにした。この場合、

(3) 目標原価と、(4) 原価改善目標はいくらになりますか。

品質原価計算

企業経営における品質とは

顧客ニーズと実際の結果が適合しているかどうか

従って、品質は次の2つの概念に区分される

＜設計品質：顧客ニーズと製品の設計仕様が適合しているかどうか

＜適合品質：製品の実際の仕様が設計仕様に適合しているかどうか

品質原価計算においては、適合品質に焦点が当てられている

品質原価計算上、品質原価は大きく品質適合コストと品質不適合コストに分類できる。品質適合コストはさらに予防コストと評価コストに分類される。また、品質不適合コストはさらに内部失敗コストと外部失敗コストに分類される。

品質適合コストと品質不適合コストの間には品質適合コストを増加させると品質不適合コストが減少するというトレードオフ関係があるので、品質適合コストと品質不適合コストの合計が最小となる最適品質原価ポイントを実現するように管理していくべきであるとする考え方と品質不適合コストはコストでなく、企業にとっての損失だとする考え方がある。

この考え方をとった場合は、損失を減少させることが大事なので、一時的に品質原価の合計が増加したとしても、品質不適合コストが減少する施策を実施し、中長期的に品質原価の合計が下がればよいという考えに結びつく。

難しいですね。イメージできますか？例をあげてみます。

CMCの例（DVD講座の実施）

良い品質のものを作るためのコストを品質適合コストと考えて下さい。

品質適合コスト（実際の製品を設計仕様に一致させるために支出するコスト）

予防コスト（不良発生を予防するための原価）・・・ 不良DVDが出にくい装置の導入
講座内容・レジュメ内容の事前チェック

評価コスト（品質不良の有無を発見するための原価）・・・ 購入DVDの受入検査
検査費用（仕掛途中・製品）

企業内で努力しても、想定外の事が起こる事もありますね

これが品質不適合原価になります

品質不適合コスト（実際の製品を設計仕様に一致させられなかったために発生するコスト）

内部失敗コスト（出荷前に発見できたコスト） 仕損品にかかったコスト・補修費用

外部失敗コスト（出荷後に顕在化した事が原因 クレーム処理・返品処理費のコスト）

仕損費に関しては、以下のように考えて下さい

仕損品の発見のために検査するためのコスト（検査担当者の人件費等）

検査の結果発見された仕損品にかかったコスト（仕損費）

最終的な経営目標は、「予防と評価コストをかけて失敗コスト全般を減らすことである」

{ 品質適合コストの最大化→失敗現価の減少
品質適合コストの節減→失敗現価の増加 } (トレードオフ関係)

経営目標は品質原価の合計を最小化する事

(全経 過去問類題)

下記資料はA社のH24年度、H25年度の品質関連の原価である。解答用紙の原価分類にしたがって〈資料〉のデータを再編集し、解答用紙の表を完成させなさい

(単位：千円)

	2007年	2008年
工程での検査	100	120
スクラップ	350	400
工程管理	300	150
返品の原因	100	220
製品検査	130	110
再作業費	350	400
誤作業防止機械維持費	200	100
PL請求	300	500
材料受け入れ検査	90	50
故障機械修理	100	200
検査員労務費	150	400
訓練費	300	120
保証修理	400	700
サプライヤー評価	100	50

	H25年	H26年
予防コスト		
工程管理		
誤作業防止機械維持費		
(小計)		
評価コスト		
(小計)		
内部失敗コスト		
故障機械修理		
(小計)		
外部失敗コスト		
(小計)		
総合計		

※検査と書いてあるのは、だいたい評価コストである